

2025 年 10 月 11 日

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
日本語	氏 名：	

問題 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

2025 年の夏は外食や映画への支出が目立った。クレジットカード^(ア) 決済額に基づくデータによると、8 月はそれぞれ 2^(イ) 桁 増えた。猛暑の下でも家計のマインドは総じて上向きだったようだ。個人消費が本格的な回復軌道に乗っているとまでは言い切れない。物価上昇分を差し引いた実質の変動をみると、食料購入などでの^(ウ) 節約志向も浮かぶ。

【Ⅰ】ナウキャスト(東京・千代田)と JCB のデータでカード消費の^(エ) 動向をみた。8 月は外食が前年同月から 12.2%も増えた。ファミリーレストランや居酒屋などの利用が目立った。

【Ⅱ】映画館も 26.6%増と大きく伸びた。直近 4 カ月連続で 2 桁増だ。歌舞伎の世界を描いた「国宝」やアニメ「鬼滅の刃」などの話題作が押し上げ要因となった。遊園地は 5.4%プラス、ゴルフ場は 8.4%プラスと①【こうちょう】だった。

【Ⅲ】^(フ) 物価高に身構えての節約一辺倒ではなく、ちょっとしたぜいたくを楽しむ^(オ) 層が広がっている可能性がある。サービス業の^(カ) 繁閑を示す経済産業省の第 3 次産業活動^(キ) 指数をみても、喫茶店やファストフード店はコロナ禍前の 20 年当初の水準を既に超えている。

【Ⅳ】「平日は 6 枚入り 100 円の食パン。土曜日の朝は散歩も^(ク) 兼ねて近くのパン屋でモーニングセットを注文している」。都内に住む 26 歳の女性会社員は普段は自炊で、たまの外食で少し羽を伸ばしているという。最近では出張先の沖縄で 1 万円のアート作品を購入した。

【Ⅴ】内閣府の 8 月の消費動向調査で、消費者態度指数は前月から 1.2 ポイント高まった。6 月以降は「持ち直しの動きが見られる」との②【きちょう】判断が続く。米国の関税③【そち】の影響などから「弱含んでいる」との判断だった 4～5 月に比べると（A）向きの流れだ。

【Ⅵ】総務省の家計調査によると、④【ごらく】的な消費が多いと考えられる「選択的支出」は直近 7 月に 2 人以上の⑤【せたい】の名目値で前年同月比 6.1%増えた。物価変動を考慮した実質でも 3.4%増と、伸び^(ケ) 幅は生活⑥【ひつじゅひん】向けが中心の「基礎的支出」の 0.1%を（B）回った。

【Ⅶ】高騰したコメを中心とする食料品価格の上昇で、消費行動が⑦【へんよう】している可能性もある。「自炊するにもお金がかかる。外で食べればつくる手間も^(コ) 省ける。最近では E の⑧【ひんど】が増えている」と都内在住の 29 歳の女性会社員は話す。

【Ⅷ】総務省の 8 月の消費者物価指数で、コメは前年同月比 69.7%上がった。伸びは食料全体でみても 7.2%に達し、外食の 4.4%を（C）回った。食料のほう 가치가上がり幅が大きい状態は 4 年近く続いている。

【Ⅸ】7 月のコメへの支出は^(ガ) 名目では 52.6%増、実質だと 20.0%減だった。購入数量はほとんど変わっていなかった。総務省の担当者は「価格の安いブレンド米などの購入が進んだのではないかと説明する。

【Ⅹ】クレジットカードをあまり使わないと考えられる低所得層も含む家計調査のデータだと、外食は 7 月に実質 0.7%減だった。全体として家計の節約志向は必ずしも薄れていない。

【Ⅺ】みずほリサーチ&テクノロジーズの酒井才介氏は「手の届く範囲で『推し活』などプチぜいたくをする動きが出てきている」との見方を示しつつ「実質賃金の⑨【ていめい】に伴う個人消費の伸び悩みが続いている」と分析する。

【Ⅻ】実質賃金は 7 月に 7 カ月ぶりに前年同月の水準を（D）回った。一時的なプラスにとどまれば消費の本格的な回復は見込めない。物価上昇を上回る安定した賃上げを実現できるか、試される⑩【きよくめん】が続く。

（出典：2025 年 9 月 25 日 日本経済新聞朝刊）

- 問 1 文中の傍線部（ア）～（コ）の読み仮名（ひらがな）を記入しなさい。ただし、送り仮名があるものはそれも含めて書くこと。（各 2 点×10）
- 問 2 文中の【 】 ①～⑩にあてはまる最も適切な漢字を記入しなさい。（各 2 点×10）
- 問 3 文中の（A）～（D）それぞれについて、「上」「下」のいずれか適切なものを選びなさい。（各 2 点×4）
- 問 4 文中の E に入る語句として最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。（4 点）

自炊 孤食 内食 外食
- 問 5 文中の破線部（F）に関して、本文ではどのような公的統計・調査を用いて述べられているか、【Ⅲ】段落～【Ⅵ】段落を参考にして 3 つ取り上げ、数値なども交えながらわかりやすく説明しなさい。（各 10 点×3）
- 問 6 文中の破線部（G）について、実質がマイナスになった理由を、本文を参考にしながら価格と量の面から説明しなさい。さらに、コメの消費や価格動向に関するあなたの意見を述べなさい。（18 点）